

## にぎわい都市創造部長マニフェスト

(作成日) 平成 27 年 4 月 24 日

### 私の思い

にぎわい都市創造部長 奥田 隆一

にぎわい都市創造部では、総合計画の将来像である『市民がいきいきとしにぎわいにあふれているまち柏原』の実現を目指すとともに、市長公約である「にぎわい大阪ナンバー1」及び「安全・安心大阪ナンバー1」に取り組みます。

#### 【産業振興課】

- ・ 農業振興につきましては、人材育成や遊休農地対策、有害鳥獣被害対策などを進め、生産基盤の確保、経営安定化に努めて参ります。
- ・ 商工業等の振興につきましては、活気ある商店街づくりへの支援を継続して進めるとともに、市内事業者等の情報発信など更なるPR等に努めて参ります。
- ・ 就労支援につきましては、ハローワークや商工会等と連携し、雇用を促進してまいります。

#### 【地域連携支援課】

- ・ 犯罪の抑止効果を一層高めるため、警察並びに市民の方々等との協働により、犯罪等の抑制に努めて参ります。
- ・ にぎわいのあるまち柏原の実現をめざし、柏原市民総合フェスティバルの効果を継続・拡大するため、イルミネーション等による更なる活性化に取り組んで参ります。

#### 【まちの魅力づくり課】

- ・ 市内の自然・史跡・ぶどう等の資源を活用した観光振興や地域活性化を目指し、まちの魅力づくり並びに発信に努めてまいります。



(作成日) 平成 27 年 4 月 24 日

### 重点課題

- ① 農業・商業・工業等の産業振興
- ② 地域就労支援の推進
- ③ 防犯対策の推進
- ④ 市民総合フェスティバルの効果促進
- ⑤ サンヒル柏原の更なる活性化
- ⑥ 地域資源の利用による交流人口の増加

## 部の施策概要

農業・商工業の経営等の安定化を目的に柏原市商工会・JA等の関係機関と共同で需要拡大・PR等を推進するとともに、にぎわいのあるまち柏原の実現をめざし、柏原市民総合フェスティバルの開催やまちの魅力を発信してまいります。また、犯罪の抑止効果を市民方々との協働で一層高めてまいります。

### 農業・商業・工業等の産業振興 【重点課題①】

- 農業生産基盤の確保及び農業経営の安定化に取り組みます。
  - ★農業の担い手の育成や有害鳥獣駆除対策などを進めてまいります。
  - ★市の特産であるぶどう等の農産物やワイン等の加工品の販路拡大、PR等に引き続き努めてまいります
  - ★コットンファームプロジェクト事業の実施など、遊休農地解消に向けた取組を引き続き進めてまいります。
- 商店街等の継続的な集客力を高めるため、柏原市商工会、大阪中河内農業協同組合及び柏原市連合商店会等の関係団体と連携しながら推進します。
- 市内事業所や商店の情報及び求人情報などを掲載したサイトを構築し、販路の拡大や消費の増加による商工業の活性化を図ります。
- 「柏原市創業支援事業計画」により、新規創業者の支援を行ないます。

### 地域就労支援の推進 【重点課題②】

- ハローワークや商工会等の協力のもと、就職フェアの開催や市内事業所の求人情報の発信により雇用の促進を図るとともに働く意欲を持ちながら就労が困難な方を対象にコーディネーターによる就労支援を推進します。

### 防犯対策の推進 【重点課題③】

- 犯罪の抑止効果を一層高めるため防犯カメラ設置補助制度を進めてまいります。

### 市民総合フェスティバルの効果促進 【重点課題④】

- 市内外から多くの方が来場される柏原市民総合フェスティバルの効果を市全体に広げるため、イルミネーション設置事業を行います。

### サンヒル柏原の更なる活性化 【重点課題⑤】

- 観光の拠点施設として更なる活性化を図るため、新規の運営事業者を決めます。

### 地域資源の利用による交流人口の増加 【重点課題⑥】

- 交流人口の増加を図るため、観光振興と地域活性化を推進します。

## 農業・商業・工業等の産業振興

(作成日) 平成 27 年 4 月 24 日

## 戦略課題の目標

## 【農業生産基盤の確保と経営の安定化】

・農業（ぶどう）の担い手の育成を図ることにより、農業従事者を確保し遊休農地の解消を図ります。また、地元農産物などの知名度アップや有害鳥獣被害の軽減による農業経営の安定化を図ります。

## 【商工業の安定化と活性化】

・地元での消費拡大をすすめ、商店街等の活性化を図ります。また、事業所や商店などの情報発信及び新規創業者への支援により商工業の活性化を図ります。

(作成日) 平成 27 年 4 月 24 日

## 施策推進上の目標

## 【農業】

・ぶどう担い手塾を開講し、新規就農者など農業後継者を育成します。  
・地元農産物などの知名度アップのため、商工会や農業啓発推進協議会などと連携し、市外や府外の大規模商業施設などでの販売を通じたPR活動を推進する。  
・有害鳥獣の駆除目標を設定して計画的駆除に務める。

## 【商工業】

・かしわらプレミアム付商品券発行事業など等により、市内での消費拡大を図ります。  
・市内事業所や商店などの情報を発信することにより、販路の拡大や消費の増加による商工業の活性化を図る。  
・事業資金融資の活用及び創業支援事業による創業者への支援により、商工業の活性化を目指します。

(作成日) 平成 27 年 4 月 24 日

## アウトプット

### 【農業】

- ・ぶどう担い手塾を開講⇒受講者目標20人、新規就農者数 年1人
- ・市外での農産物等のPR⇒平成27年度目標 5か所
- ・有害鳥獣の駆除⇒イノシシ：280頭、アライグマ：70頭、カラス：350羽
- ・侵入防止柵設置面積⇒平成27年度目標 3ha

### 【商工業】

- ・プレミアム付商品券発行事業による経済効果を測定する。  
⇒事業者に対し、効果額のアンケート調査数約300件
- ・遊休農地を活用して栽培した綿を使った、新たな柏原ブランドの商品化
- ・情報掲載事業所数⇒800件
- ・柏原市創業支援事業計画による支援⇒平成27年度目標 創業支援者数 95人
- ・柏原市小規模企業事業資金融資斡旋⇒平成27年度目標 5件

(作成日) 平成 27 年 4 月 24 日

## アウトカム

### 【農業】

- ・農業従事者の確保を図ることにより、遊休農地の解消による農地の保全
- ・地元農産物などの知名度向上と販路の拡大により、経営の安定化を図る。  
⇒市民意識調査での満足度向上 0.1ポイント
- ・有害鳥獣の駆除や侵入防止柵設置による農産物被害の軽減により経営の安定

### 【商工業】

- ・市内外の消費拡大と市内商店街の活性化  
⇒消費拡大による経済効果額約6,200万円以上を目指す。
- ・本市の知名度アップのため、柏原ブランドの新たな商品の開発を目指す。
- ・商工業事業者の育成と経営支援による経済の活性化を図り、新規開業者9人を目指す。

## 地域就労支援の推進

(作成日) 平成 27 年 4 月 24 日

## 戦略課題の目標

- ・ 求人と求職のマッチングを図り、雇用の拡大を進めます。
- ・ 働く意欲があるにも関わらず就労阻害要因のある就職困難者に対する雇用機会の確保に努めます。

(作成日) 平成 27 年 4 月 24 日

## 施策推進上の目標

- ・ 本市での就職フェアの開催や市内企業の求人情報の提供などによる雇用の促進を図る。
- ・ 市福祉部局・教育部局、さらにハローワークや地域若者サポートステーション等と連携し、地域就労支援コーディネーター3名による就職相談の実施による就職者数の増加を図る。
- ・ 「ひきこもり」など同じ立場・境遇にいる者同士が互いに悩みなどを語り合い、共同作業を実施することで、生活リズムの改善や苦手とする対人関係の克服が図られ、就労に向けての本人の意識改革などに取り組む「居場所事業」を推進する。

(作成日) 平成 27 年 4 月 24 日

## アウトプット

- ・ 就職フェア参加企業数、参加者数及び就職者数  
⇒ 16社で100名の参加及び就職者数6名
- ・ 就職者数  
⇒ 相談者約90名に対して就労支援を行い、50名の就職を達成

(作成日) 平成 27 年 4 月 24 日

## アウトカム

- ・ 地元企業への雇用の拡大により、本市への定住化及び市税の増収が見込まれる。
- ・ 就職困難者の就労により、生活保護受給者等の減少及び生活基盤の安定化が図られる。

## 防犯対策の推進

(作成日) 平成 27 年 4 月 24 日

### 戦略課題の目標

大阪一安全・安心なまちをめざして、警察や防犯協会と連携し、犯罪防止に向けた周知啓発を行うとともに、犯罪の抑止効果を一層高めるため防犯カメラ設置補助制度を進めてまいります。

(作成日) 平成 27 年 4 月 24 日

### 施策推進上の目標

- ※ 1. 警察をはじめ各団体との連携により市全体で、犯罪防止に取り組む機運を盛り上げるため、安全なまちづくり推進協議会の開催や市民大会を開催し、大阪府下で街頭犯罪発生件数のもっと少ない市を目指す。
- ※ 2. 防犯カメラ設置補助制度による最終設置目標台数を、町会等からの要望を踏まえ 100 台とし、達成に向けて設置を推進する。

(作成日) 平成 27 年 4 月 24 日

### アウトプット

- ※ 1. 安全なまちづくり推進協議会の開催、安全なまちづくり市民大会の開催及び警察、防犯協会と共同で街頭防犯キャンペーンをそれぞれ 1 回ずつ開催する。
- ※ 2. 平成 26 年度 21 台に助成しており、今年度も 20 台に助成することで、最終設置目標台数に対し、40%の達成率を目標とする。

(作成日) 平成 27 年 4 月 24 日

### アウトカム

※市民の防犯意識を高めるとともにハード面の整備を進めることで、大阪府下 33 市で最も街頭犯罪発生件数の少ない市＝「安全・安心」大阪ナンバー 1 を達成する。

## 市民総合フェスティバルの効果促進

(作成日) 平成 27 年 4 月 24 日

### 戦略課題の目標

にぎわいのあるまち柏原の実現をめざし、市内外から多くの方が来場される柏原市民総合フェスティバル(11月7日実施予定)の効果化市全体に広げるとともに、より継続的なものとするため、市内主要駅前にイルミネーションを設置します。

(作成日) 平成 27 年 4 月 24 日

### 施策推進上の目標

約8万人(主催者発表)が来場されるフェスティバルのにぎわいを、会場付近だけのものから市内中心へと拡大させるため、JR 柏原駅・近鉄国分駅前に10月下旬からイルミネーションを設置することで、フェスティバル当日の来場者を会場から両駅前へ誘導し、飲食店を中心とした地域の活性化を促す。さらにフェスティバル開催後も、イルミネーションを増設し、コンサートや駅前飲食店等のセールなどの同時開催により、継続的な経済効果を見込む。また本事業の経済効果を測定することで、事業の検証を行う。

(作成日) 平成 27 年 4 月 24 日

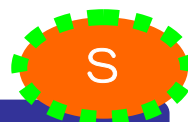
### アウトプット

継続的な商業の活性化や柏原のPRを図るため、12月開催予定のイルミネーション増設と飲食店等セールとのコラボ企画について、市のHPやフェイスブックに加え20,000部以上のチラシを作成し、フェスティバル当日に会場や駅周辺で配布し、柏原市への来訪者の増加を図る。

(作成日) 平成 27 年 4 月 24 日

### アウトカム

※本市最大のイベントである柏原市民総合フェスティバルの賑わいを、さらに拡大・継続することで、柏原市の魅力のPRと消費喚起を図り、イルミネーション設置期間終了までの経済効果額1億円を目標とする。



## サンヒル柏原の更なる活性化

(作成日) 平成 27 年 4 月 24 日

### 戦略課題の目標

現在の一般財団法人柏原市健康推進財団による運営を見直し、新規の運営事業者を広く公募し、健康増進及び観光の拠点施設として更なる活性化をめざし、安定的な財政運営を目指します。

(作成日) 平成 27 年 4 月 24 日

### 施策推進上の目標

4 月から公募型プロポーザル方式により広く募集を開始し、10 月から新規の運営事業者での供用を開始する。

(作成日) 平成 27 年 4 月 24 日

### アウトプット

施設の安定的な経営とサービスの向上が図られるよう、運営事業者の選考に際しては、今後の経営方針、事業実績及び運営能力等を慎重に評価し、6 月末日までに新規運営事業者を決定する。

(作成日) 平成 27 年 4 月 24 日

### アウトカム

新規運営事業者による安定的な経営や民間のノウハウ活用により、更なる利用者のサービスの充実が図られ、本市の健康増進及び観光の拠点施設として市民満足度が高まり、併せて交流人口の増加により地域の活性化につながる。



## 地域資源の利用による交流人口の増加

(作成日) 平成 27 年 4 月 24 日

### 戦略課題の目標

交流人口の増加による観光振興と地域活性化を図る。

(作成日) 平成 27 年 4 月 24 日

### 施策推進上の目標

「ふるさと旅行券事業」「自転車の聖地かしわら事業」「まちの魅力づくり発信事業」などを実施し、地域の人材育成・ネットワークづくりと交流人口の増加を図る。

(作成日) 平成 27 年 4 月 24 日

### アウトプット

- ・ふるさと旅行券については、1, 500人以上の誘客を図る。
- ・自転車事業については、大人・子ども用のイベント開催により、1, 000人以上の参加者を誘客する。
- ・まちの魅力づくり発信事業のフォトコンテストでは100人以上の応募を達成する。
- ・まちの魅力発見塾を4回シリーズ開催し、地域の人材育成及びネットワークをつくる。

(作成日) 平成 27 年 4 月 24 日

### アウトカム

様々なイベントの開催や新たな地域人材ネットワークの構築により、自発的な市民グループの活動につながり、地域資源を活用した新たな商品や企画の開発や情報発信が行われ、市民活動の活発化と市内の交流人口の増加と地域の活性化が図られる。